

第1号様式
(代表者印省略)

令和 6年 〇月 〇〇日

大分県ポートセールス実行委員会
会長 〇〇 〇〇 様

申請者
住 所 東京都千代田区●●●●
名 称 〇〇〇株式会社
代表者職・氏名 代表取締役社長 ☆☆ ☆☆

大分港大在コンテナターミナル利用転換促進助成金交付申請書

大分港大在コンテナターミナル利用転換促進助成金の交付を受けたいので、同交付要綱第7条の規定により関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成対象年度 令和6年度
- 2 助成金交付申請額 金 2,620,000 円(a+b)
- 3 事業計画

- (1) 利用転換助成
大分港大在コンテナターミナル利用計画

貨物名	利用転換貨物量	国内の仕入地又は仕出地の所在(市町村名まで)
〇〇〇等化成品ほか	262本	大分市、佐伯市

※詳細は「事業計画明細書」

助成金見込額
10,000円× 262本 = 2,620,000 円(上限額500万円)

(a) ※記載例のため、第1号様式の1~3分の合計を記載、本来は第1号様式の2(R元年度大分港利用実績あり)が他の様式分と合算されることはない。

- (2) デマレッジ助成
デマレッジ発生予測

単位:円

貨物名	発生予測数	全体デマレッジ額	助成対象デマレッジ額	船社名
	本			

※詳細は「事業計画明細書」

助成金見込額
助成対象デマレッジ額 円 = _____ 円(千円未満切捨て)
(b)

- 4 その他
(1) 申請者が商社の場合はクライアント名を記入

名称	代表者職・氏名

- 5 添付書類
(1) 事業計画明細書(第1号様式の1~4)・・・該当する様式のみ添付
(2) 確認書(第1号様式の5)
(3) 令和元年度大在CT利用実績が確認できる海運貨物取扱業者からの証明書(第2号様式)
(4) 申請者が海運貨物取扱業者の場合は、荷主からの承諾書(第3号様式)
(5) その他会長が必要と認める書類
※ (2)~(4)の書類については、助成初年度のみ添付

担当者名	東京 太郎
電話番号	000-0000-0000

事業計画明細書

1 利用転換助成

(1)大分港大在コンテナターミナル利用計画

[他港からの利用転換貨物(R元年度大分港利用実績なし)]

輸出入の別		輸出		輸出		輸入		
助成対象貨物名		〇〇〇等化成品		△△△ほか		〇〇〇原材料		
相手国名		タイ、マレーシアほか		中国		ベトナム		
相手港名		レムチャパン、ポートケランほか		寧波、青島		ハイフォン		
他港 利用 状況	助成 開始 前年 度	国内利用港	博多港、門司港		門司港		博多港	
	R5	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	10本	30本	10本	10本	本	30本
TEU換算		10TEU	60TEU	10TEU	20TEU	TEU	60TEU	
大在 C T 利用 状況	助成 1年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	本	25本	10本	5本	本	10本
		TEU換算	TEU	50TEU	10TEU	10TEU	TEU	20TEU
	助成 2年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	本	本	本	本	本	本
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU
	助成 3年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	本	本	本	本	本	本
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU

輸出入の別						計		
助成対象貨物名								
相手国名								
相手港名								
他港 利用 状況	助成 開始 前年 度	国内利用港	港		港			
	R5	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	本	本	本	本	20本	70本
TEU換算		TEU	TEU	TEU	TEU	20TEU	140	
大在 C T 利用 状況	助成 1年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	本	本	本	本	10本	40本
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	10TEU	80TEU
	助成 2年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	本	本	本	本	本	本
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU
	助成 3年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	本	本	本	本	本	本
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU

助成年度の本数の合計を記入

助成対象貨物量	50本
---------	-----

事業計画明細書

1 利用転換助成

(1)大分港大在コンテナターミナル利用計画

[他港からの利用転換貨物(R元年度大分港利用実績あり)]

輸出入の別		輸出			輸入			
助成対象貨物名		◇◇◇			★★★			
相手国名		中国			インド			
相手港名		上海、天津ほか			ナバシェバ			
他港 利用 状況	助成 開始 前年 度	国内利用港	門司港			博多港		
	R5	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	50本	30本	10本	5本	本	本
		TEU換算	50TEU	60TEU	10TEU	10TEU	TEU	
大在 C T 利用 状況	助成 1年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	55本	25本	8本	5本	本	本
		TEU換算	55TEU	50TEU	8TEU	10TEU	TEU	TEU
	助成 2年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	本	本	本	本	本	本
			TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU
助成 3年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F	
	本数	本	本	本	本	本	本	
		TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	
大在 CT 利用 状況	R元 年度	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
		本数	30本	10本	10本	本	本	本
		TEU換算	30TEU	20TEU	10TEU	TEU	TEU	TEU
		船社名						
		乙仲名						

R元年度から助成対象年度までの増加数	増加本数	25本	15本	-2本	5本	本	本
	TEU換算	25TEU	30TEU	-2TEU	10TEU	TEU	TEU
			55TEU		8TEU		TEU
	助成対象本数		40本		4本		本

合計を記入

助成対象貨物量	44本
---------	-----

○助成対象本数算定手順

- ① 20F・40F毎に助成対象年度の本数からR元年度の本数を引いた数を記入(マイナスの場合も記入)
- ② 20F・40Fのどちらにもマイナスがない場合は、20Fと40Fの増加本数の計が助成対象本数
- ③ 20F・40Fのどちらかにマイナスがある場合はTEU換算し、その合計(TEU)がゼロ又はマイナスの場合は助成対象外。プラスの場合は④の計算を行う
- ④ 増加しているコンテナサイズが20Fの場合は増加したTEUの数が助成対象本数
40Fの場合は増加したTEUの数を2で除した数(小数点以下切り上げ)が助成対象本数

事業計画明細書

1 利用転換助成

(1)大分港大在コンテナターミナル利用計画

[他の輸送手段からコンテナ輸送に利用転換し大分港を利用した貨物]

輸出入の別		輸入				合計	
助成対象貨物名		●●●					
相手国名		オーストラリア					
輸送方法		バルク船					
助成 開始 前年度	輸送 ルー ト	仕出港	アデレード港		港(空港)		
		仕向港	大分港(自社バース)		港(空港)		
R5	貨物 量	RORO船	台		台		
		その他	トン		トン		
助成 1年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数	150本		本		本	150本
R6	TEU換算	150TEU	TEU	TEU	TEU	150TEU	TEU
助成 2年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数	本	本	本	本	本	本
R	TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU
助成 3年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数	本	本	本	本	本	本
R	TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU

助成年度の本数の合計を記入

助成対象貨物量	150本
---------	------

[新規貿易貨物]

輸出入の別		輸出				合計	
助成対象貨物名		■◇■					
相手国名		台湾					
相手港名		高雄					
助成 1年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数	本	18本	本	本	本	18本
R6	TEU換算	TEU	36TEU	TEU	TEU	TEU	36TEU
助成 2年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数	本	本	本	本	本	本
R	TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU
助成 3年目	コンテナサイズ	20F	40F	20F	40F	20F	40F
	本数	本	本	本	本	本	本
R	TEU換算	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU	TEU

助成年度の本数の合計を記入

助成対象貨物量	18本
---------	-----

事業計画明細書

2 デマレージ助成

(1)大在CTにおけるデマレージ発生状況及び今年度助成予測

貨物名: ●●●
 船社名: ☆☆☆☆ライン
 フリータイム: 5日

・利用転換助成対象貨物のデマレージ発生状況及び見込 単位:円

		1年度目	2年度目	3年度目
年度見込	発生本数			〇〇
	全体デマレージ額			〇〇〇,〇〇〇
	助成対象デマレージ額			△△,△△△
デマレージ発生予測の考え方	・〇〇港からの輸入貨物●●●については、繁忙期である12月の輸入量が増加するため、増加見込の8本のコンテナに1週間ほどデマレージが発生する見込 ・7日分のデマレージ 40,000円×8本=320,000円 ・3日分のデマレージ 12,000円×8本=96,000円			

※助成対象デマレージ額については、発生本数にデマレージ発生から3日目までのデマレージ額を乗じて積算してください。

※令和元年度に大在CTを利用していた貨物のデマレージ本数は、上記の発生本数に算入しないこと。

※ 令和4年度までに新規で助成を受けた事業者のみ対象

第1号様式の5
(代表者印省略)

令和 6年 0月 00日

大分県ポートセールス実行委員会
会長 〇〇 〇〇 様

申請者

住 所 東京都千代田区●●●●●

名 称 〇〇〇株式会社

代表者職・氏名 代表取締役社長 ☆☆ ☆☆

確認書

大分港大在コンテナターミナル利用転換促進助成金に申請した貨物は、令和2年度から令和7年度までに下記の1又は2に該当する外貿コンテナ貨物です。

また、令和元年度に大分港大在コンテナターミナル(以下、「大在CT」という。)を利用している場合は、大在コンテナターミナル利用状況証明書(第2号様式)を提出します。

記

1 利用転換貨物

- ・ 他港から大在CTへ利用転換した外貿コンテナ貨物
- ・ コンテナ輸送以外の貨物を大在CTへ利用転換した外貿コンテナ貨物

2 新規貿易貨物

- ・ 大在CTを利用して新たに貿易を開始した外貿コンテナ貨物